



悠優かしま **湯木 千奈**

悠優かしまで調理を担当している湯木千奈さんは、2024年4月に中途入職しました。入職から約9か月が経ち、今はどのような思いを抱きながら日々の業務に取り組んでいるのでしょうか。仕事のやりがいや今後の目標についてお話を伺い、湯木さんの意気込みに迫っていきます。

● 入職のきっかけや、業務内容について教えてください。

前職では、特別養護老人ホームで調理の仕事をしていました。社会福祉法人千寿会に入職したきっかけは、悠優みふねのオープニングスタッフの求人情報を見たことです。興味をもって応募したものの、新型コロナウイルス感染症の影響でオープンが遅れてしまったようで、しばらくは別の施設で働いていました。再び求人が出たあとな

ぐに応募し、入職にいたりしました。

現在は主に、利用者様に提供する食事の盛りつけや、簡単な調理を担当しています。調理は悠優みふねで行っているため、人手が足りないときにはお手伝いに行くこともあります。

● これまでに失敗してしまった経験はありますか。

約12年前、調理を担当していた頃に苦い経験があります。施設内での職務をはじめて2年が経過したタイミングでした。カレーを大きな釜を使って煮込んでいたところ、火加減を誤って焦がしてしまったのです。結果、約130名分の料理を廃棄する事態に。材料も労力もすべて無駄にしまい、大変反省しました。

この経験から、少しでもわからないことや不安

に思う点は、しっかりと確認する大切さを学びました。施設で使用する大きな釜は、火加減がとても難しいのが特徴。弱火では時間がかかりすぎますし、強火では焦げるリスクがあります。周囲の先輩職員も同様の経験をしているため、コツを習得している方ばかり。みなさんを頼って、レシピには掲載されていないノウハウを教えてくださいという姿勢が、スキルアップには必要だと思いました。

● やりがいを感じる瞬間についてお聞かせください。

利用者様に「美味しかった」といわれると一番幸せを感じます。行事食など特別な日に喜んでいただくのも嬉しいですし、普段の日でも前向きな言葉をかけていただけるのが、仕事の醍醐味です。食事は生活の一部。少しでも幸せな時間になるようにお手伝いできると、達成感を覚えますね。

● こだわっているポイントがありますか。

利用者様を第一に考えて、お料理をご提供することでしょうか。以前勤めていた施設で、高齢者の口の中を体験する機会がありました。オブラートを10枚ほど口の中に入れて状態で食事をするといった内容で、ちょうど高齢者の感覚に近いそうです。体験してみたところ、普通の食事でもかなり食べにくく、ショックを受けました。この経験がきっかけとなり、より利用者様に寄り添って考えるようになりました。現在でも、当時受けた衝撃は忘れていません。

ほかには、食欲を促進する盛りつけにもこだわっています。以前、「人は視覚情報が8割」という言葉を聞きました。目でも食事を楽しむため、彩り豊かにきれいな盛りつけを意識しながら提供しています。

● 最後に今後の目標をお聞かせください。

入職してまだ1年経っていないため、すべての行事食を経験できているわけではありません。まずは一つひとつの仕事に丁寧に取り組み、基本的な業務をしっかりと習得していこうと思っています。その上で達成したい目標としては、「悠優かしまにいてよかった」と感じていただけるお食事を提供し続けること。周囲のみなさんと協力しながら、より良いメニューや盛りつけを提供していきたいと思っています。

「将来的には、悠優かしまならではの特別なお料理を考案したい」と語った湯木さん。思いやりと向上心を胸に、今日も挑戦を続けていきます。



失敗を成長に

今だから笑える失敗談

社会人になりたての頃は、わからないことも多く、失敗を重ねてしまうもの。いつも頼もしい存在である先輩にも、同じように失敗していたときがあるのです。今回は若手の頃のお話をベテランの後藤さんに伺いました。皆さんもぜひ参考にしてください！



グループホームひだまり
ごとう
後藤 ゆかりさん

新人時代の失敗談

慌てるあまり道を間違え、訪問先への到着が遅れてしまった

2024年12月で、入社27年目を迎えます。その間、いろいろな部署を経験しましたが、入社当時は訪問介護のヘルパーをしていました。通っていたのは田舎のほうの町だったのですが、道に迷って遅れてしまったことがありました。1件あたりの訪問時間が決まっており、午前中だけで2〜3件回ることになっていたため、焦りもあったのだと思います。曲がるころを1本間違えてしまったことに気づかず、到着が5分ほど遅れてしまいました。

経験から学んだこと

時間がなくても、慌てずに段取りを確認することが重要

「急がば回れ」ということわざもありますが、急いでいるときほど慌てないことが大事だと痛感しました。1日のスケジュールや地図などを前もって確認しておけば、心に余裕ができ、時間通りに到着することができていたはず。到着後は予定通りに進めることができたものの、わずかとはいえ、心配をおかけしてしまったことは、今でも反省しています。



失敗してしまったときの心境

逆に心配されてしまい、心苦しい気持ちに

本当に申し訳ない気持ちでいっぱいでした。訪問先の方からも「大丈夫だった？事故にでも遭ったのかと思ったよ」とご心配いただき、なおさら心苦しくなったのを覚えています。当時は今のように、スマホやカーナビもなかった時代です。道が間違っていることに早めに気づくことができ、大幅な遅れにならなかったことは、不幸中の幸いだったと言えるかもしれません。

若手社員へのアドバイス

失敗を恐れない 積極性が成長へとつながる

理事長が常々おっしゃっている通り、成長するためには何でも挑戦してみることが重要です。過度に失敗を恐れず、思い切って新しいことに取り組んでください。何かあれば私たちもサポートしますし、興味があることや、やりたいことについての相談も大歓迎です。自分の可能性を広げるために、ぜひ積極的に行動してみてください。

仕事を支えるアイテム特集!

仕事を頑張るための頼もしいアイテムを紹介いただくこの企画。今回は、快適に業務をこなすための仕事のオトモと、仕事のモチベーションをアップさせるアイテムを紹介させていただきます！

紹介してくれたのはこの人

コミュニティハウス悠優かしまリーダー
うえすぎ ともよ
上杉 知世さん



7年前の育児期間中からハマっています!

仕事に欠かせないアイテムは……

「韓国ドラマ」

子どもが生まれたばかりで外出ができなかったため「家で何かできることはないか?」と考え、動画配信サービスを利用することにしました。韓国ドラマには興味がなかったのですが、視聴していくうちに、俳優の演技の上手さやストーリーにどんどんハマっていきました。

メリットはこれ!

ドラマを見ることで、家事が進みます。やるべきことを早く済ませて、ドラマを見る時間をつくっているためです。子どもに「また韓国ドラマを見ているの?」と言われるのですが、韓国ドラマのおかげで、家でも仕事の休憩中でも有意義な時間を過ごすことができます。

こんな方におすすめしたい!

趣味を見つけたい方にもってこいです!韓ドラを視聴することで、推しを見つけることもできます。友達に勧めたところ、韓ドラや韓国のアイドルに見事にハマっていました。

紹介してくれたのはこの人

デイサービスセンター悠優かしま
ひらた えりか
平田 恵理香さん



子どもが生まれた約10年前から使っています!

仕事に欠かせないアイテムは……

「ヒートテック・スパッツ」

デイサービスの勤務中、冬に送迎に出る際に寒さを感じていました。そのときに友達から紹介されたヒートテック・スパッツは、冬場の送迎はもちろん、子どもが生まれて外で遊ぶ機会が増える中で、寒さを乗り切るための必需品となりました。破れたり、くたびれたりする度に買い替えながらも、今でも仕事やプライベートで欠かせないアイテムです。

メリットはこれ!

介護職は立ち仕事や中腰での仕事が多く、足が浮腫みやすいため、仕事をする上で私の体をサポートしてくれています。また、寒い中で送迎に出る際にも、乗り切ることができます。

こんな方におすすめしたい!

手足に冷たさを感じる方におすすめしたいと思います。締め付けに抵抗がある方もいるかもしれませんが、最近は締め付けないスパッツも販売されています。誰でも履きやすくなっているため、おすすめです。